

ICT活用工事積算要領（基礎工編）（令和4年4月改定版）

ICT活用工事を実施する場合の積算については、以下に示す手順によるものとする。

① 工事価格

・共通仮設費（率）は、下表による率を用いて算出する。

対象金額	600 万円以下	600 万円を超え 20 億円以下		20 億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
港湾構造物工事	7.97% (7.96%) [7.93%]	134.0 (134.0) [134.6]	-0.1808 (-0.1809) [-0.1814]	2.79% (2.78%) [2.77%]

※基礎工のみを行う工事の場合は、（ ）内の率を適用する。

※ICT 海上地盤改良工を含む工事を発注する場合は [ ] 内の率を適用する。

対象金額	600 万円以下	600 万円を超え 10 億円以下		10 億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
海岸工事	13.07% (12.50%)	407.7 (481.3)	-0.2204 (-0.2339)	4.23% (3.78%)

※基礎工のみを行う工事の場合は、（ ）内の率を適用する。

共通仮設費率の算定式

$$K r = a \cdot P b \text{ (小数 3 位四捨五入)}$$

ただし、

K r : 共通仮設費率 (%)

P : 共通仮設費率の算出対象額 (円)

a、b : 定数値

② 「ICT 施工」代価表

(1) 捨石投入 1,000m<sup>3</sup> 当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
捨 石	～ kg/個	m <sup>3</sup>	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
潜水士船 運転	D270PS 型 3～5t 吊	日	1,000×(1+W/100)/Q	就業 8H
施工管理システム		日	1,000×(1+W/100)/Q	損料
雑 材 料				

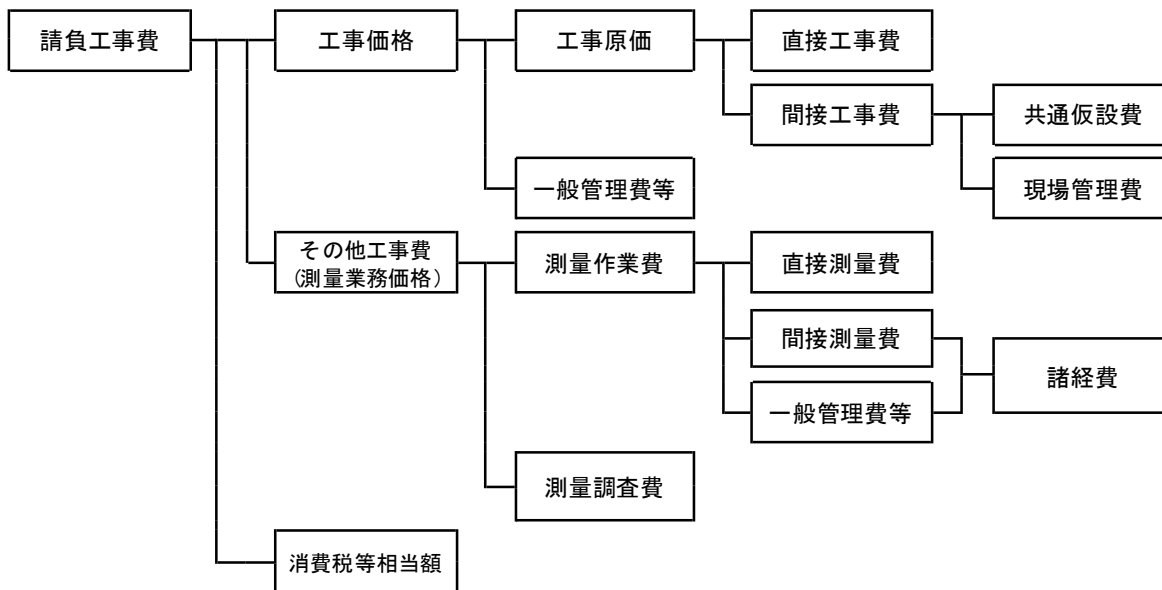
(2) 機械均し 1日 ( m<sup>3</sup> ) 当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
捨石均し船 運転	1,000PS 型	日	1	運 6H/就 10H
揚 錨 船	鋼 D 15t 吊	〃	1	就業 8H
潜 水 士 船	D270PS型 3~5t吊	〃	1	就業 8H
引 船	鋼 D 1,500PS 型	〃		運 2H/就 8H
雑 材 料				

③ 測量業務価格 (3次元起工測量の費用)

- ・別紙により算出する。なお、別紙記載の『基準』とは『港湾請負工事積算基準第3部』である。
- ・「成果物」「諸経費」は、3次元起工測量の直接測量費の合計を対象金額として算出する。
- ・測量調査費については、別紙により算出する。
- ・「その他原価」「一般管理費等」は、3次元設計データ作成の直接人件費、業務原価を対象として算出する。

④ 算出した③測量業務価格をその他工事費に計上し、①工事価格と合算する。



## ICT基礎工に適用する測量歩掛について

(起工時)

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価					
数量計算等	起工時					
	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内容	単位	数 位	摘 要
	測量準備	測量準備		式	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位の場合は小 数3位四捨五入とする。	四捨五入
		機材運搬		〃		
	水深測量	検潮基準測定		式		
		検潮	測定日数	日		
		検潮資料整理	測定日数	〃		
		艀装テスト		式		
		マルチビーム測深	測深面積	km2		
	成果	起工時データ整理	測深面積	〃		
3次元設計データ作成			施設			
成果品			式			
① 測量準備	測量準備 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	主任技師	測 量	人	2	(外業1) ※3-1=2	
	技 師	〃	〃	3	(外業2) ※5-2=3	
	技師補	〃	〃	3	(外業1) ※4-1=3	
雑材料		%	1			
※関係部署調整は元請けが行うものとし、外業分を控除						
② 機材運搬	機材運搬 (2往復当り) 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	測量補助員		人	2	標準運転時間	
	トラック	2t積	日			
	雑材料		%	1		
※トラックの能力は、基準2編1節3-2-2 機材運搬による。						
③ 検潮基準測定	検潮基準測定 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交通車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	主任技師	測 量	人	1		
	技 師	〃	〃	1		
雑材料		%	1			
※基準2編1節3-4-2 検潮基準測定により、必要に応じ計上する。						
④ 検潮	検潮 1日当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交通車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	助手	測 量	人	0.3		
	雑材料		%	1		
※基準2編1節3-4-3 検潮により、必要に応じ計上する。						

## ICT基礎工に適用する測量歩掛について

(起工時)

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価				
⑤ 検潮資料整理	検潮資料整理 10日当り				
	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
	技師	測量	人	1	
	技師補	〃	〃	1	
	助手	〃	〃	1	
	雑材料		%	1	
⑥ 艀装テスト	艀装テスト 1式当り				
	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
	交通車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	主任技師	測量	人	1	
	技師	〃	〃	1.5	
	技師補	〃	〃	1.5	
	助手	〃	〃	1	
	測量船(運転)	FRP D70PS型	日	1	就業 8H
	GNSS		〃	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑材料		%	1	
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-2 艀装テストにより、損料等を計上する。					
⑦ 測深	測深 1日当り( km)				
	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
	交通車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	測量船(運転)	FRP D70PS型	〃	1	就業 8H
	主任技師	測量	人	1	
	技師	〃	〃	1	
	技師補	〃	〃	1	
	助手	〃	〃	0.5	
	GNSS		日	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑材料		%	2	
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-3 マルチビーム測深 の作業能力、損料等により計上する。 受注者の責に起因しない遅れが生じた場合は、拘束費用等を別途考慮することができる。					

## ICT基礎工に適用する測量歩掛について

(起工時)

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価				
⑧ 測深データ整理	起工時データ整理 1式当り				
	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
	主任技師	測量	人		作業能力の算定による
	技師	〃	〃		〃
	技師補	〃	〃		〃
	雑材料		%	4	電算機含む
	名称	マルチビーム測深			摘要
	主任技師	3+1.3×A			A: 測深面積 (km <sup>2</sup> )
	技師	4+1.2×A			
	技師補	5+12.3×A			
※基準2編1節 参考資料-2 2-5-1 報告書作成 により端数処理を行う。					
⑨ 3次元設計データ作成	3次元設計データ作成 1施設当り				
	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
	主任技師	設計	人	1	
	技師 A	〃	〃	1.5	
	技師 B	〃	〃	1.5	
	技師 C	〃	〃	1	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品費(電算費を含む)は、直接人件費の3%を標準とする。</li> <li>・対象施設が複数ある場合は、施設毎の数量とする。</li> <li>・測量調査費として計上を行う</li> <li>・発注者が3次元データを提供できる場合は計上しない。</li> </ul>					
⑩ 成果報告	成果報告 1式当り				
	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
	業務成果品費		式	1	
※基準2編1節3-5-2 業務成果品により計上する。					